

# 文化財の見方・楽しみ方 17

## ～富士見台小学校通学区域の巻～

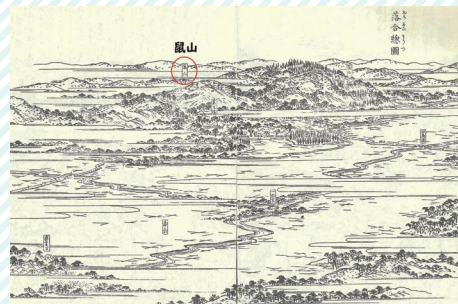
富士見台小学校通学区域は、昭和7年(1932)に豊島区ができるまで長崎町の一部でした。昭和初期くらいまで椎名町駅付近には谷端川が流れていて、通学区域はその南岸に位置しています。南岸一帯の目白5丁目から4丁目にかけては「鼠山」と呼ばれ、一説には鎌倉時代に源頼朝が寝ずの見張りを置いたという伝説があります。江戸時代には一帯がクヌギの木で覆われ、薬草がとれる山だったそうです。

右下の地図のように、山手通りから天祖神社の脇に入る南北の道は、「長橋道」といって、江戸時代には長崎村と板橋宿(板橋区)を結ぶ道でした。「長橋道」を南に進んでいくと、目白通りとの交差点に出ます。目白通りから西に南長崎通りに進む道筋のことを、昔は「清戸道」といいました。「清戸道」は室町時代にはすでに通っていて、現在の清瀬市まで続いていました。

江戸時代後期の紀行文には、「長橋道」と「清戸道」の交差点付近に慶徳屋という穀物商があり、「清戸道」沿いに商人の家々があって、その街並みが「椎名町」と呼ばれていたと書かれています。現在の南長崎交番のある交差点には、子育て蔵尊がありました。地蔵尊は現在、南長崎通り沿いに移っています。石造りのお地蔵様は宝永7年(1710)に長崎村の村人によって建てられ、「清戸道」と練馬区方面に別れる道の二又にあって、道標となっていました。

昭和時代、南長崎3丁目の「トキワ荘」に手塚治虫や藤子不二雄ら著名な漫画家が居住したことで、椎名町は有名になりました。通学区域になっている南長崎1丁目には、曙湯という銭湯があって(現在の区民ひろば富士見台)、トキワ荘に居住していた漫画家たちも通っていたそうです。

富士見台小学校通学区域は、鎌倉時代から昭和時代までの長崎地域の歴史を学ぶことができます。ぜひ実際に歩いて、史跡を巡ってみましょう。



▲現在の新宿区から豊島区方面を見て描かれた絵図です。(『江戸名所図会』)



▲現在の地図に古道(黄色線)、川(青線)を示しました。

お問合せ 庶務課文化財グループ 03-3981-1190

後閑教育施策推進  
担当課長の

つぶやき



私は、小学3年生から野球をはじめ、今でも休日は、地元の野球部同級生とソフトボールをして楽しんでいます。年齢とともに珍プレーが多発していますが、気の知れた「仲間」と、一緒にプレーができるその場所は、私にとってはかけがえのない「居場所」の1つにもなっています。

小学生、中学生には二度と戻ることにはできません。学校生活は勉強も大切ですが、是非、豊島区の小中学生には、趣味、習い事、部活、遊び等を通じて、沢山笑い、時には皆で泣き、最高の「仲間」と、大人になっても自分が楽しめる「居場所」を作ってほしいなと思います。

## ひとりじゃないよ 相談してね

豊島区ははじめ根絶に向けて「豊島区はじめ防止対策推進条例」を制定しています。

### ● 豊島区教育センター教育相談

名前を言わなくても相談できるよ。LGBTなどの相談もどうぞ。

03-3983-0094

開設日時:月～土曜日(祝日・年末年始を除く) 午前9時～12時、午後1時～5時

### ● 豊島区子ども家庭支援センター

保護者の方の子育てについての相談や、地域で気になるお子さんの相談もできます。子どもの悩みも相談できるよ。

東部子ども家庭支援センター 03-5980-5275、0120-618-471

西部子ども家庭支援センター 03-5966-3131

開設日時:月曜日～金曜日 午前9時～午後6時/土曜日:午前9時～午後5時

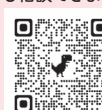
### ● 豊島区子ども若者総合相談「アシスとしま」

子供からおおむね39歳までの若者の悩み、困りごとは「アシスとしま」へ!

03-4566-2476

受付日時:月曜日～金曜日 8時30分～16時30分  
(祝日・年末年始を除く)

タブレットからも相談できます



### ● すずらんスマイルプロジェクト

生きづらさを感じる10代から20代の若い女性を支援するため、豊島区役所で生まれたプロジェクトです。どんなことでも大丈夫。あなたの“なんとなく”を聞かせてください。

詳しくはこちら▼

